

出水に備え『斐伊川水防演習』を実施します。

記者発表資料

近年、気候変動の影響などもあって記録的集中豪雨が多発し大規模な洪水災害等が全国各地で起きています。ここ斐伊川流域でも平成18年の7月豪雨では、首都松江市は浸水し、流域の各地で甚大な被害が発生したことは記憶に新しいところです。

国土交通省、島根県及び斐伊川沿川の出雲市、雲南市、斐川町は、こうした出水の際に迅速かつ的確な水防活動を行ない、災害の発生を未然に防止し、又は被害を最小限に食い止めることができるよう備えるため、水防技術の修練と志気高揚を図ることを目的に『斐伊川水防演習』を毎年行っています。

今年は、5月31日(土)に出雲市武志町地先の斐伊川左岸の河川敷において実施します。

この度の演習では、斐伊川の水防活動において必要となる代表的な水防工法を基礎から習得することを重点に訓練を実施する他、地元建設業者で組織する「災害対策協力会」と水防団とが連携して作業する工法、堤防が決壊した場面における建設機械を使った堤防の応急締切工を実演します。また、被災現場での活躍が注目されている「排水ポンプ車」「照明車」の設営演習も予定しております。

この演習は、平成元年に第1回目を実施して以来、今回で14回目になります。

平成20年 5月27日

国土交通省 出雲河川事務所

国土交通省 斐伊川・神戸川

総合開発工事事務所

島根県 雲南県土整備事務所

島根県 出雲県土整備事務所

出 雲 市

雲 南 市

斐 川 町

発表記者クラブ名

出雲市政記者クラブ

問 合 せ 先

国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所

副所長(技術) 溝 山 勇

建設専門官 錦 織 正

Tel 0853-21-1850

平成20年度「斐伊川水防演習」の特徴について

水防団員の技術の習得を重点にした実践的演習内容としています。

工程と作業内容を理解し、必要な労力の量や必要な資器材を把握できるよう準備工から完成まで通して行う演習内容としています。

工法に必要な資機材も予め必要量用意することなく、各班の判断で資材や道具の選定・調達を行います。工法の理解度が試されるところです。

準備工では、基本作業である「土のう作り」「杭ごしらえ」「ロープワーク」をマスターします。

工法指導者に「防災エキスパート」も加わり充実した指導陣で技術習得を支援します。

昨年創設された「水防専門家派遣制度」を活用して水防専門家の派遣を得たほか、本年から河川に精通した「防災エキスパート」を新たに7名配置、「出雲結い工」の指導者も含め9人の指導者がきめ細かく指導にあたります。

地元水防団と「災害対策協力会」が連繋した作業を行います。

建設機械を保有する「斐伊川水系災害対策協力会」(災対協・地元有志の建設会社で組織)が、地域の水防団が行う水防活動を支援する場面を想定した演習を行います。

今回は、溢水対策を実施する水防団に土のうや間詰め土砂などの水防資材を災対協が供給します。

工法のやり方や使用材料を時代に即した形で実演します。

「改良積み土のう工」は、土のうとブルーシートだけでできるよう工夫された工法です。従来の「積み土のう工」に比べて鉄筋や間詰め土が不要なため作業の省力化・迅速化が図れるほか、コンクリート護岸や舗装した場所など鉄杭を打ち込めないところでも有効です。

また、各工法に従来から使用してきた「わら縄」や「番線」などの資材は近年あまりなじみがなく取扱いに扱いに不慣れです。誰でも扱いやすく調達も容易なナイロンロープや竹の代わりとなる単管パイプなどの資材も応用します。

また、地元企業が開発した土のう製造器「ビー・ビー・ワーカー」も使用します。土のうづくりは大変重労働ですが、この器具を使用すると従来より少ない人員で数倍早く土のうを作ることができます。

斐伊川オリジナルの伝統工法「出雲結い工」を実演します。

「出雲結い工」は、天井川で砂河川である斐伊川の特性を巧に利用した破堤後の応急堤防締切工です。先人達が生み出した知恵と技術を受け継ぐため「出雲結い工」は毎年実施しています。

破堤を想定した応急締切工を建設機械を使って実施します。

近年は地球規模の気象変動に伴って破堤をもたらすような大きな水害が発生することも特異なことではなくなってきました。

本年は、堤防が決壊したとの想定で、災対協が建設機械を使って緊急・応急的に大型ブロックで締め切る工法を実演します。

災害現場で活躍する「排水ポンプ車」「照明車」の設営を実演します。

近年、「排水ポンプ車」や「照明車」などの特殊作業機械の活躍ぶりが全国各地の災害現場において注目されています。

出雲河川事務所では、「排水ポンプ車」2台、「照明車」1台を保有していますが、今回の演習で各1台ずつ設置訓練をします。

平成20年度（第14回）斐伊川水防演習

実 施 要 領

1．目 的

洪水による被害の発生を未然に防止し、又は、被害を最小限に食い止めるためには、関係機関が密接な連携のもと、迅速かつ的確な水防活動を行うことが必要である。

国土交通省・島根県・水防管理団体をはじめとする関係機関は、水防工法の訓練を行い技術の習得・錬磨を図るとともに、水防に携わる職員・団体の志気の高揚に資することを目的に、斐伊川水防演習を開催するものである。

2．主 催

国土交通省 出雲河川事務所
" 斐伊川・神戸川総合開発工事事務所
島 根 県 雲南県土整備事務所
" 出雲県土整備事務所
出 雲 市
雲 南 市
斐 川 町

3．協 賛

斐伊川水系災害対策協力会
(社)中国建設弘済会 島根支部

4．来 賓

島根県河川課長
出雲市長
雲南市長
斐川町長
出雲警察署長
出雲市消防本部 消防長
雲南消防本部 消防長
斐伊川水系災害対策協力会長
(社)中国建設弘済会 島根支部長

5．開催日時

平成20年5月31日（土） 9時00分～12時00分

6．開催場所

出雲市武志町地先 斐伊川左岸高水敷（10k000付近）

7．参加機関

出雲市水防団
雲南市水防団
斐川町水防団
島根県 雲南県土整備事務所
" 出雲県土整備事務所
斐伊川水系災害対策協力会
国土交通省 出雲河川事務所
" 斐伊川・神戸川総合開発工事事務所
(社)中国建設弘済会 島根支部

8. 組織及び事務分掌

【演習本部】 演習全体の総括
本部 長：出雲河川事務所長
副部 長：斐伊川・神戸川事務所長
" : 雲南県土整備事務所長
" : 出雲県土整備事務所長
本部 付：出雲河川事務所 調査設計課長

【演習進行部】 演習の運営・広報
部 長：出雲河川事務所 (技)副所長
進行部 付：出雲河川事務所 河川管理課長

【演習実施部】 演習の実施
部 長：出雲河川事務所 (技)副所長
副部 長：雲南県土整備事務所 維持管理部長
" : 出雲県土整備事務所 土木工務部長
実施部 付：出雲市水防団長
雲南市水防団長
斐川町水防団長
出雲河川事務所 工務課長

工法指導

水防専門家 (1 名)
防災エキスパート (7 名)
斐伊川水系災害対策協力会 (1 名)

統括指揮者

斐川町水防団 副団長

第1班	斐川町水防班 (釜段工)	29名
第2班	出雲市出雲方面隊水防班 (月の輪工)	32名
第3班	出雲市平田方面隊水防班 (月の輪工)	33名
第4班	出雲市佐田方面隊水防班 (積み土のう工)	20名
第5班	出雲市多伎・湖陵方面隊水防班 (シート張り工)	24名
第6班	出雲市大社方面隊水防班 (工法後方支援)	11名
第7班	雲南市加茂方面隊水防班 (シート張り工)	15名
第8班	雲南市木次方面隊水防班 (改良積み土のう工)	26名
第9班	雲南市三刀屋方面隊水防班 (木流し・竹流し工)	36名
第10班	島根県雲南県土整備事務所水防班 (改良積み土のう工)	21名
第11班	島根県出雲県土整備事務所水防班 (木流し・竹流し工)	19名
第12班	斐伊川水系災害対策協力会水防班 (出雲結い工)	13名
第13班	斐伊川水系災害対策協力会水防班 (破堤部応急締切工)	4名
	(建設機械支援)	4名
第14班	国土交通省水防班 (積み土のう工)	21名
第15班	国土交通省水防班 (排水ポンプ車・照明車)	5名

9. 演習日程

8 : 3 0 ~	(準 備)		
9 : 0 0 ~	(開会式)		
	開会 の 辞		
	主催者挨拶	出雲河川事務所長	
		斐川町長	
9 : 2 0 ~	(演 習)		
	準備工	全 班	
	演習 (前半)	第 5 班 ・ 第 7 班	シート張り工
		第 9 班 ・ 第 11 班	木流し工 ・ 竹流し工
		第 4 班 ・ 第 14 班	積土のう工
		第 8 班 ・ 第 10 班	改良積土のう工
		第 6 班	工法後方支援
		第 13 班	破堤部応急締切工 ・ 建設機械支援
	演習 (後半)	第 2 班 ・ 第 3 班	月の輪工
		第 1 班	釜段工
		第 6 班	工法後方支援
		第 15 班	排水ポンプ車 ・ 照明車
	演習 (通し)	第 12 班	出雲結工
1 1 : 5 0 ~	(閉会式)		
	講 評	島根県 河川課長	
	閉会 の 辞		
	解 散	12:00	

10. 参加人員

出雲市水防団	1 2 0 名
雲南市水防団	7 7 名
斐川町水防団	2 9 名
斐伊川水系災害対策協力会	2 2 名
島根県雲南県土整備事務所	2 1 名
" 出雲県土整備事務所	1 9 名
国土交通省出雲河川事務所	1 9 名
" 斐伊川・神戸川	
総合開発工事事務所	7 名
工法指導者	9 名
来賓・役員他関係機関参加者	4 6 名
計	3 6 9 名

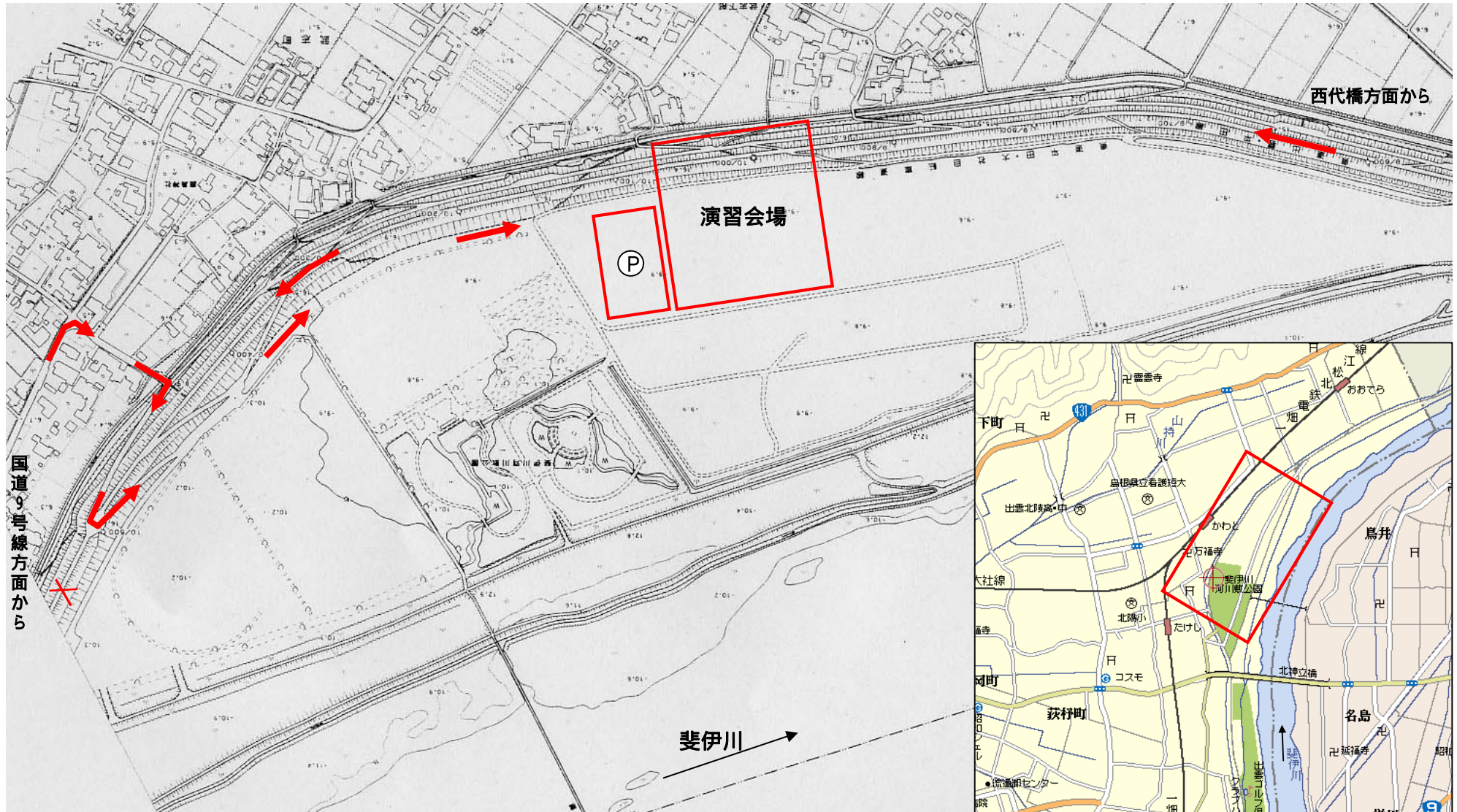
11. 演習の進行

別紙「平成20年度斐伊川水防演習日程」のとおり。

12. 演習会場の位置等

別紙「演習会場位置図」「演習会場配置図」のとおり。

平成20年度 斐伊川水防演習会場案内図



国道9号線からは大津小学校前交差点を平田方面(県道出雲平田線)に、平田方面からは西代橋北詰から堤防上を出雲方面に進入してご来場ください。